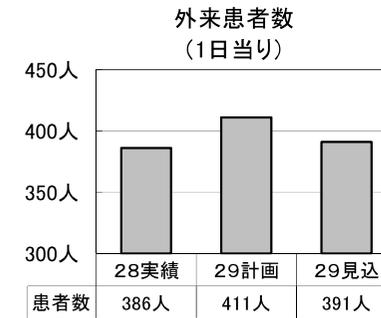
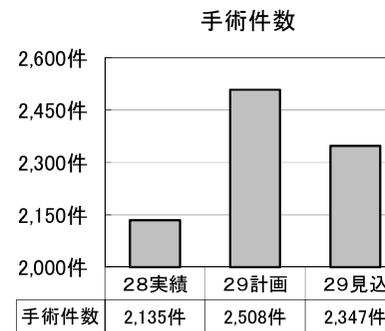
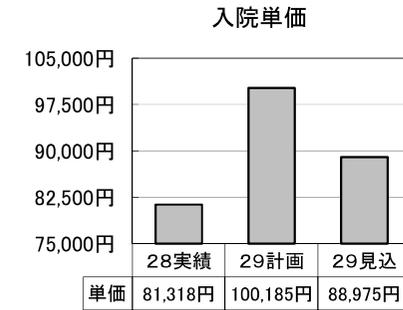
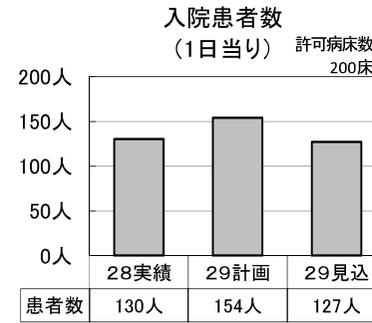
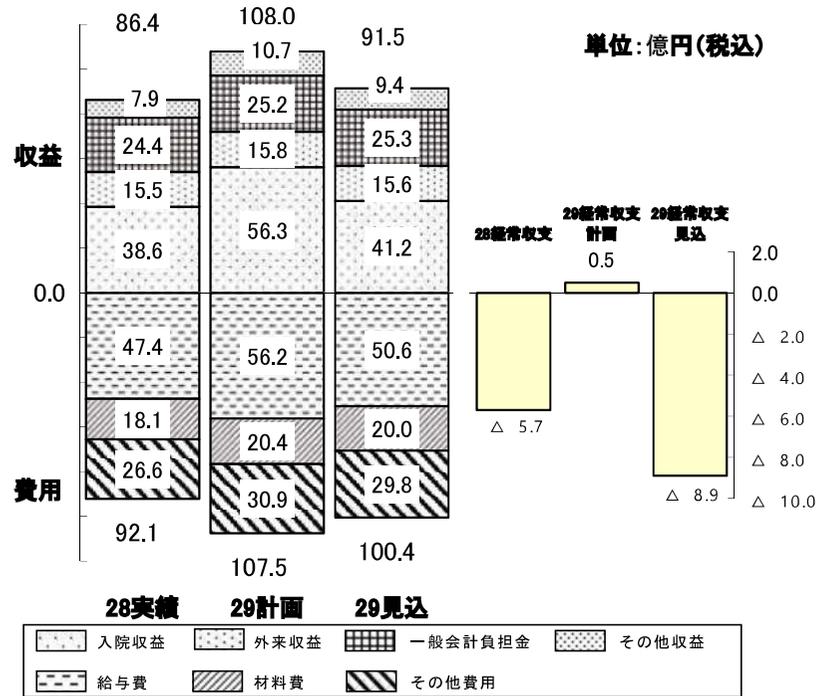


# 小児保健医療総合センターの取組状況

資料6

## 1 平成29年度計画と決算見込比較



### <収益>

収益は91.5億円で、計画(108.0億円)に比較し16.5億円の減収。

- ・入院収益は、患者数や手術件数の減などにより15.1億円の減収。
- ・外来収益は、患者数の減などにより0.2億円の減収。
- ・その他収益は、小児救命救急センター運営事業に係る補助金の配分調整に伴い、補助金額が計画を下回ったことなどにより1.3億円の減収。

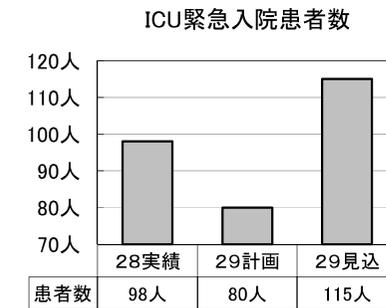
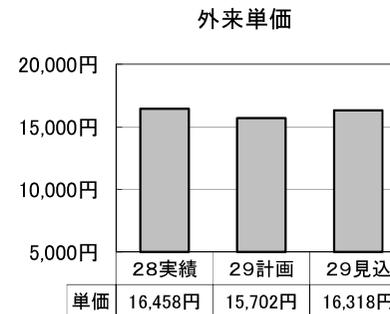
### <費用>

費用は100.4億円で、計画(107.5億円)に比較して7.1億円の減少。

- ・給与費は、医師等の欠員や計画と実績の単価差により5.6億円の減少。
- ・その他費用は、院内保育所の開所の遅れによる委託費の減などにより1.1億円の減少。

### <経常収支>

経常収支は8.9億円の赤字となる見込みで、計画(0.5億円の黒字)に比べ9.4億円下回る。



【参考】収益的収支見込（小児保健医療総合センター）

（単位：億円）

		H28 決算	H29		
			計画	見込	見込－計画
収益	入院収益	38.6	56.3	41.2	△ 15.1
	外来収益	15.5	15.8	15.6	△ 0.2
	一般会計負担金	24.4	25.2	25.3	0.1
	その他収益	7.9	10.7	9.4	△ 1.3
	収益 計	86.4	108.0	91.5	△ 16.5
費用	給与費	47.4	56.2	50.6	△ 5.6
	材料費	18.1	20.4	20.0	△ 0.4
	その他費用	26.6	30.9	29.8	△ 1.1
	費用 計	92.1	107.5	100.4	△ 7.1
経常損益		△ 5.7	0.5	△ 8.9	△ 9.4
経常収支比率		93.8%	100.5%	91.1%	-9.4%
医業収支比率		69.2%	78.5%	68.7%	-9.8%

※ 特別利益、特別損失を除く

2 目標（成果指標）の達成状況

成果指標	単位	H28 実績	H29 目標	H29 見込	達成率
新外来患者数(初診料算定数)	人	8,962	8,300	9,500	114.5%
1日当たり外来患者数	人	386	411	393	95.6%
新入院患者数	人	6,958	7,393	7,336	99.2%
病床利用率	%	65.1	77.0	63.1	81.9%
手術件数	件	2,135	2,508	2,347	93.6%
救急患者数	人	6,891	6,300	6,900	109.5%
緊急入院患者数	人	1,115	1,150	1,150	100.0%
ICU緊急入院患者数	人	98	80	115	143.8%
保健医療相談件数	件	5,412	5,250	5,500	104.8%
ボランティア登録者数	人	99	70	98	140.0%

3 経営改善に関連する主要な取組

(1) 小児救急の体制強化

第三次救急ネットワーク体制の強化のため、小児重症患者搬送連携システム（重症系患者相談システム及び救急車搬送システム）を構築した。

救急車搬送システムにて当センターに搬送された患者は7名ではあるが、ICU 緊急入院患者数としては12月まで89人と、計画の80人を既に上回っている。

重症患者の受け入れ先については、PICU だけでなく平成28年11月に開設し平成29年6月に施設基準を取得したNICUを用意し、受け入れ態勢のさらなる強化を図っている。

小児重症患者搬送連携システム

愛知県内で重症小児患者を管理できるクローズドICUを持たない病院の医師からの受け入れ相談を体系的に行い、必要な病態にあわせて受け入れるICUを迅速に決定するシステム。



(2) 在宅支援業務の構築

平成30年4月からDPC病院になる予定であるが、早期退院の取り組みの実施によりDPCのより高い係数を取得するため、在宅支援室を設け、地域関係者と連携を図るための患者カンファレンスを積極的に実施している。目標は年間6回であるが月2～3回のペースで開催できており、今後もさらに地域関係者との連携を強化していく予定である。